



2025 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社ヤマタネ
代表者名 代表取締役社長 河原田 岩夫
(コード：9305、東証プライム市場)
問合せ先 執行役員コーポレート本部財務部長 田崎 一郎
(TEL. 03-3820-1111)

2026 年 3 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025 年 8 月 1 日に公表いたしました 2026 年 3 月期（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想について、最近の業績動向を踏まえ、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026 年 3 月期通期連結業績予想値の修正 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 88,870	百万円 5,520	百万円 5,300	百万円 4,870	円 銭 222.81
今回修正予想 (B)	93,770	5,710	5,130	4,940	226.01
増減額 (B－A)	4,900	190	△170	70	—
増減率 (%)	5.5	3.4	△3.2	1.4	—
(ご参考)前期実績 (2025 年 3 月期)	80,922	3,780	3,650	3,091	149.76

(注) 当社は 2025 年 6 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の株式分割を行っております。1 株当たり当期純利益については株式分割を考慮しております。

2. 業績予想修正の理由

売上高につきましては、当第 2 四半期会計期間に実施した M&A の要因や食品カンパニーのコメ卸売販売業において、令和 6 年産米に引き続き、令和 7 年産米も販売単価が高止まりすると予想し、2025 年 8 月 1 日公表の通期業績予想を上回ると見込んでおります。営業利益は、人的資本投資の拡充や外形標準課税の増加等を見込むものの、コメ卸売販売業において、当第 2 四半期累計期間を通じて、令和 6 年産米の需給の逼迫に伴う販売単価の上昇が想定以上に継続する中、安定供給を図りながら適宜適切に価格転嫁を進めたことに加え、備蓄米の精米作業受託等により増益となり、また、第 3 四半期以降は、令和 7 年産米の仕入価格が上昇する中で安定した利益確保を見込んでいることから同業績予想を上回ると見込んでおります。経常利益につきましては、資金調達に伴うシンジケートローン手数料の計上により同業績予想を下回る見込みではありますが、投資有価証券の売却等により親会社株主に帰属する当期純利益は同業績予想を上回る見込みであります。

(注) 上記の業績等は、現時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により、業績予想とは異なる結果となる可能性があります。また、当連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定をおこなっており、(ご参考) 前期実績の各数値においては、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

以 上